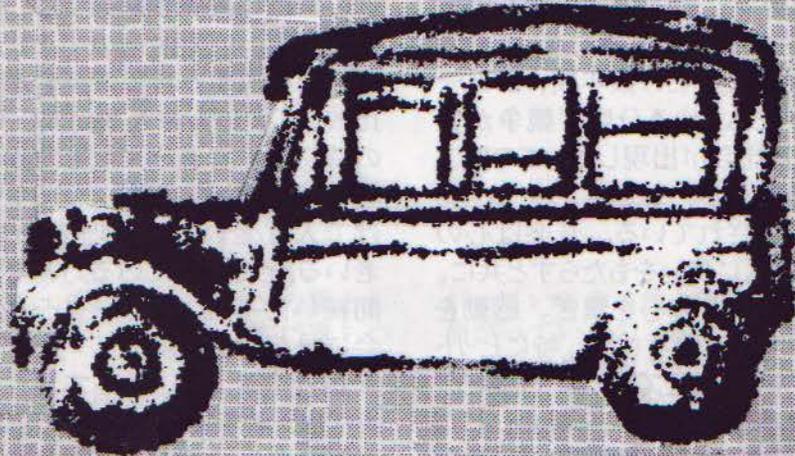




# 流星

第19号(OB会誌第6号)



目次	題字 河村 先生(元部長)	
	イラスト 伊東	( 44)
巻頭言 大学生生活40年徒然考	自動車部顧問 原田	(教授) 2
所感 自動車部OB会の活用について	自動車部OB会会長 松尾	( 25) 3
挨拶 自動車部OB会の皆様へ	自動車部主将 原島	( 3回生) 4
挨拶 OB担当挨拶	自動車部OB担当 花本	( 3回生) 4
新入部員の決意・抱負	自動車部1回生	4
自動車部活動報告・計画		5
自動車部会計報告		5
自動車部部員名簿・卒業者		6
挨拶 新主将挨拶	自動車部新主将 北垣	( 2回生) 6
総会特集		
平成19年度総会を終えて	関東地区幹事 木村	( 36) 7
平成19年(第4回)OB会総会の開催	関東地区副幹事 宮崎	( 39) 7
OB会総会準備委員会報告	総会実行委員会事務局長 中西	( 150) 8
OB会総会会計報告	総会実行委員・会計 江頭	( 53) 9
第4回OB会総会を振り返って	総会実行委員・映像担当 近藤	( 54) 10
総会を終えて(2年前からの～)	総会実行委員 武地	( 51) 11
OB会総会準備委員として	総会実行委員 早田	( 54) 11
OB会役員会・総会議事録		11
地区報告 関西地区OB会活動報告	関西地区幹事 木庭	( 43) 13
自動車部OB会会員名簿		14
特別会員名簿		18
OB会会則・編集後記		19

九州工業大学責善会自動車部  
明専・九州工大自動車部OB会

正誤表

誤	正
16 ページ 名簿 54 西	54 西原
18 ページ 名簿 記載漏れ	

## 大学生活40年徒然考

責善会自動車部顧問 原田

今夏、戦後の歌謡界のヒットメーカーで作詞家の阿久悠が逝った。文芸春秋10月号に載った彼のベストヒット百曲の年譜は、大学生活の期間と重なり、折々に如何なる気持ちで教育・研究に取り組んでいたかが歌を通じて蘇るようで大変興味深かった。この数年間、グローバル化の御旗の下にあらゆる分野で競争が強いられた結果、格差社会が出現した。この間、人間関係は益々希薄化し、コミュニケーション力の重要性が再認識されている。音楽は心の栄養となって精神生活に潤いをもたらすと共に、時代や世代を越えて人々の心を繋ぎ、感動をもたらすネットワークキング力をもつ。特にヒット歌謡曲はこの要素を強く備えているようである。しかし、最近の歌は特定の世代を対象にしたもので、世代を越えて共感を引き起こすような力がない。若者達の喜怒哀楽の感情表現が徐々に弱くなりつつあることを感じていたが、案外、大ヒットする歌謡曲が久しく出ないことに一因するのかもしれない。

彼は、また、「人生は第二志望で決まる。」という含蓄のある言葉を残した。大学選びに、仕事に、恋愛・結婚に誰もが全てをベストチョイスで人生を送れるわけではない。問題は万やむなくセカンドチョイスとなった際、それに如何に軌道修正を加えることができるか、あるいはそれを踏み台にして、反発力を如何に発揮できるかによってその後の人生は大きく変わる。本学には昔も今も不本意入学の学生が多く、彼らの学習意欲を鼓舞するためにこのセリ

フに関連した内容の話をしてきたが、最近は余りしなくなった。それは若者気質が変わったからである。すなわち、青少年の意識に関する最近の国際比較調査結果では、上昇志向希薄、競争回避、安定志向の小市民的、平均的な人生、を希求する若者の割合が欧米や中・韓に比較して多い。詩人 Samuel Ullman は「青春の詩」で、「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ちかたを言う。———年を重ねただけで人は老いない。理想を失ったとき初めて老いる。」といている。バブル崩壊後に長期間続いた不況、フリーター・ニート・格差社会に見られる「諦め」、少子高齢化社会、等々が社会変革をもたらす活性化エネルギーを萎えさせ、若年寄り型社会に変化しつつあるのかも知れない。良し悪しは別として、昔の規範が成り立たなくなってきた。宿題を残しつつ大学を去るが、グローバル化に対応できるこれからの技術者をいかに育成するかは、喫緊の課題である。

最後に自動車部の顧問を引き受けることで、本学でこれまで味わえなかったような楽しいことをいろいろと経験させて頂くことができましたことを感謝しています。これからもこの良き伝統が引き継がれ、自動車部が永遠に不滅であることと更なる発展を祈念しています。

「原田 教授は本年をもって退官、自動車部顧問も退かれました。長い間お世話になりました。厚く御礼申し上げます。編集部」

### さらなる100年に・九州工業大学創立100周年募金について

ご承知のように明専会では創立100周年事業の募金活動を展開しています。10月20日に行われた自動車部OB会総会でもOB会としてこの事業に協力することを確認しました。

つきましてはOB各位にも是非さらなるご協力をお願いいたします。

#### 事業内容

①社会に有用で魅力ある卓越した教育・研究を支援する事業

- ②グローバルな活動を目指し、自らを練磨する創造的な学生を支援する事業
- ③同窓会はもちろん、多様な人との交流の輪を広げ、開かれた「ニュー明専会」を創設する事業

目標：10億円 期間：2006/11～2010/9

払い込み口座 郵便振替

福岡銀行戸畑支店

三菱東京UFJ銀行北九州支店

## 自動車部OB活動の活用について

自動車部OB会会長 松尾 ( 25 )

明専・九州工大自動車部OB会は、流星18号の名簿人数で数えてみると、特別会員を含めて327名となっている。これだけ多くの会員の皆様に対して、どれだけのご満足を与えているのだろうか。振り返ってみて、内心反省しきりのこの頃である。ちなみにOB会会則の第2条「本会は自動車部OBを主体とし、会員相互の扶助親睦を図るとともに、現役自動車部の発展に寄与することを目的とする。」とある。

この中で、会員相互の扶助親睦を図るという点では、嘉村事務局長を核として各地区役員の方々が、大変なご努力をして頂いているお陰で、何とか手ごたえを感じるころまできている。また、会員相互のコミュニケーションの場として、OB会誌「流星」は立派な存在に育ちつつある。

反面、現役自動車部の発展に寄与するところでは、一体どれだけの貢献をしたのだろうか。

原田 自動車部顧問と徳尾 特別顧問のお二方に一任した形で、現役の皆さんの面倒をみて頂いている現状でよいのか。OB会としては、この辺に強力な施策が必要ではないかと感じている。

平成19年度自動車部OB会総会は、関東地区担当で10月20日から21日にかけて開催された。

総会に先立って役員会が開かれたが、審議事項の一つに、「現役自動車部員との交流会の具体化・予算措置」として、平成14年12月30日、自動車部新車庫の披露を兼ねて開催された「OBと部員との交流会」のスタイルを踏襲し、2年に1回、総会のない年に交流会を開くという案が出ている。この交流会では、現役の日頃の悩みをぶちまけて、OBとの建設的、具体的な意見交換の場にしたらどうかと考えている。こういうイベントを継続することが、会合をもってよかったという満足感につながり、明日へのモチベーションの醸成にもなると考える。

なにしろ、OBの構成年齢は、昭和20年代から平成10年代まで、約60年にわたっている。

その中で、古い先輩からは、物の考え方、技術者の持つべき倫理観や人生観など。新しい先輩からは、自動車部の進むべき方向とか企業内の苦労話などを聞くことによって、日頃の具体的な悩み解決の一助となるだろう。

さて、私が41年間、福岡県古賀市の西部電機㈱に勤務していた晩年、大変お世話にもなり、しごいて頂いた、名経営者の森徹郎氏が、若い新入社員向けに教育された資料から、本文に関連した部分を抜粋してみよう。

「光陰矢の如し」 森 徹郎

あたたかく保護された学園から会社に入ってくると、物珍らしさとともに厳しさを味わう。仕送りを受けた身が、いよいよ自分で稼ぎ出す。何となく、誇らしくもあり、はたしてそれに値するかとの不安もある。(中略)

程度の差こそあれ、感情の浮き沈みが、ある間隔で繰り返す襲う。入社後、3か月・3年・5年・10年位で特に大きな波がくる。これに健康上からの10年間隔位での波が重なる。よほど精神的・肉体的にしっかりしたものを持つよう心がけないと破たんがくる。

健康上の問題は、若い間とはかく無関心というよりも無視しがちである。工場の柱がひん曲がっているのは色々気にするが、自分の脊柱が曲がっているのと健康とは無関係と考える。精神の安定や忍耐力も健康あつての話。人間の体こそは、プロセスオートメーションそのものである。

30歳から40歳ともなれば、猛烈に仕事をしなければならない立場になる。職場にあつても家庭にあつてもまさに支柱でなければならない。「治にいて乱を忘れず」で、若い時から健康法に関心を持ち、実験を積んでおく必要がある。オートメーションの勉強と思えば一挙兩得である。

悲観や絶望がその極に達すると、希望と期待を他の職場や他の企業に見出し、転職や退職を決意したり、逆にすっかりあきらめてしまったりする。

こうした時に大きな指針を与えてくれるものは、経験者であり、友人である。この意味で十分に話し合え、相談できる友人・先輩・上級者を日頃からつくっておく必要がある。

書籍はこの場合さらに広く色々なことを教える。読書が絶対に必要な所以である。

こうした転機を、そのつど、どう乗り切るか。遅れず、休まず、働かずにマイホーム的のみになるか。根性をもって、仕事に打ち込み、より多くの人のために、物心両面で役にたつのか。ここに人間として、エンジニアとしての別れ道がある。

光陰矢の如し。一日、一年を其のあるものにしないと、定年の時点で、会社や社会に恨みごとでも言いたいみじめな気持ちになる。

われわれはエンジニアこそ最も人間的な人間になり得るし、また、なるべきだと確信する。定年はすぐくる。時間のたつのは早い。今にして一日一日へと努力をしなければなるまい。・・・・けだし名言である。

また、機会をつくって、「エンジニアとしての態度・考え方」について抜粋してみたい。

—挨拶—

自動車部OB会の皆様へ

責善会自動車部主将 原島 ( 3回生)

先輩の皆様には、ご清勝のこととお喜び申し上げます。

昨年より前主将の国吉 に代わり、第66代主将を務めることになりました 3回生の原島 と申します。

自動車部の部員は現在19名で、今年の新入部員は3名と去年の1名に続き少ない人数ではありますが、少数精鋭でより一層頑張っていこうと思っています。

今年の熱海で行なわれたOB総会では楽しい

時間を過ごさせてもらい、先輩方の様々なお話やアドバイスを聞くことが出来、大変刺激を受けました。

入部した頃は何も分からなく先輩方に指導していただくばかりでしたが、先輩方の築いてこられた実績と技術をしっかりと受け継ぎ、今までの先輩方に負けないように努力し励んでいきます。

今後とも先輩方のご助言、ご援助を宜しくお願ひします。

—挨拶—

自動車部OB担当挨拶

責善会自動車部OB担当 花本 ( 3回生)

この度、朝長 ( 3回生) からOB連絡員を引き継ぎました、

3回生の花本 と申します。

今後「流星」や、OB会に関する自動車部の窓口は自分が担当します。よろしくお願ひします。

新入部員の入部動機と、決意

自動車部一回生

1回生 山端

自動車部に入部した動機は、車が好きだからです。幼少から父の傍らで、父が車いじりしているのを見ていると「良くこんな複雑な構造をしたものをプラモデルみたいに扱えるなあ」と、こればかりは父に感心してしまいました。

この体験をきっかけに、いつか自分の手で車を自分のものにしたいと思うようになり、車が好きになりました。車を乗りこなせるように、メカニックにとどまるだけでなく、車の構造を理解し、今の車の状態・調子が分かるドライバーになりたいです。自分の自動車部に入部した動機は「車を乗りこなせるような、知と体の基礎をこの自動車部で身につけたい。」その一言に尽きます。

今後、先輩方に助けられたり、教わったりとお世話になります。宜しくお願ひします。

私が自動車部に入部したのは、実家にエンジンが壊れかけのMARK II～GX71～があり、ただ漠然と「こいつを運転したい」と思ったことが理由です。乗りたいだけなら、お金を出せば直してくれるところはいくらでもあることは誰もが知っていることですが、自動車のことも知りたかったし、自分でいじることに憧れもあり、予備知識も免許もないまま車庫を訪れました。夏休みの終わりには、先輩にお願いして実家から車を持ってきてもらい、それからエンジンの構造、直し方などを調べてそろそろ実際に手を入れる段階にきています。自分一人の力では直すことは難しい面もたくさんある為、先輩方のお力もたくさんかりながら直していき、また、これからも先輩方の整備を見てたくさんの方の事を学んでいきたいと思っています。

1回生 香川

私が自動車部に入ったのは、中学生のころか

1回生 森田

ら自動車には興味があり運転や、整備に興味を持っていました。しかし、中学・高校では自動車部のようなものは無かったので、車に触れる機会もなく車についての話ができる人もほとんどいませんでしたが、ここでは車に触れた

り整備を学べたり、車について一緒に話ができ、とても楽しいです。将来的には自分で車を整備できるようになり、運転もうまくなりたいと思っています。

## 平成17～18年活動報告・次年度計画

### [Rally]

開催日	大会名	クラス	参加者	結果
2007/4/7～8	JMRC九州ラリーJrシリーズ第一戦	H-B	泥谷/安部	4/5台(3位)
	CRMCラリーin九州	H-C	N野/石原	5/5台(2位)
2007/6/10	JMRC九州ラリーJrシリーズ第二戦	H-B	泥谷/安部	5/10台(2位)
	グラベルマインドラリー2007in唐津	H-C	N野/石原	6/10台(4位)
2007/6/10	JMRC九州ラリーJrシリーズ第三戦	H-B	泥谷/安部	6/10台(3位)
	FMSC SUMMER ATTACK '07 in みやき	H-C	N野/石原	5/10台(4位)
				いさん/石丸
2007/9/1-2	JMRC九州ラリーJrシリーズ第三戦	H-B	泥谷/安部	リタイヤ
	MCA・SEP・RALLY 2007	H-C	N野/石原	2/3台(1位)

### [GYMKHANA]

開催日	大会名	クラス	名前	結果	
2007/3/4	JMRC九州ジムカーナ 第一戦ジムカーナ2007	SA1	西野	4位/6台	
2007/3/25	〃 第二戦スプリンチャージGK2007	SA1	西野	7位/10台	
2007/6/10	2007年全九州春期学生ジムカーナ大会	団体C車両	桑原・原島・北垣	15位/15台	
		個人の部	花本豊壽	6位/30位	
2007/7/22	JMRC九州ジムカーナ地方選手権 第六戦	SA1	西野	9位/9位	
	V GYMKHANA FESTIVAL '07				
2007/10/7	JMRC九州ジムカーナ地方選手権 第八戦	SA1	西野	10位/11位	
	RASCAL GYMKHANA 2007				
2007/10/14	2007年全九州学生ジムカーナ大会	団体C車両	桑原・原島	15位/16位	
		個人の部	原島	13位/40位	
		花本豊壽	2位/40位	朝永	22位/40位
		安部将太	9位/40位	西野	3位/8位

### 2007年活動記録

4月 4(祝)	学生連盟ダートラ
5月 26～27	ACKスプリングラリー
6月 10(日)	学生連盟ジムカーナ
8月 4～5	全日本学生連盟ダート
10月14(日)	学生連盟ジムカーナ
11月10～11	KITナイトラリー

### 2007活動計画

2008年 3月	追いコン
5月	ACKスプリングラリー
6月	学生連盟ジムカーナ
10月	学生連盟ジムカーナ
11月	KITナイトラリー 工大祭

## 平成18年度工学部自動車部収支

(収入の部)

(単位: 円)

事項	予算額	決算額	差引き増減額	備考
援助金				OB会からの援助金 を含む
負担金				ホイール売却金 を含む
合計				

## (支出の部)

## 援助金

(単位: 円)

事項	予算額	決算額	差引き増減額	備考
エルフ維持費				
学生連盟費				
設備維持費				
KITナイトラリー開催費				
合計				

## 負担金

事項	決算額	備考	事項	収入	支出	収支
KITナイトラリー開催		援助金不足分	援助金			
部車製作及び維持費			負担金			
雑費						
合計			合計			

## 自動車部部員名簿

平成19年4月現在

科年	氏名	出身校	役職	科年	氏名	出身校
D3	石塚		監督	3	国吉	
M2	西野		主将	3	原島	
M2	石丸		主務・OB	3	朝長	
M2	延原		会計・部車	3	桑原	
M1	徳永			3	岩本	
M1	泥谷			3	花本	
4	安部			2	石原	
4	倉本			2	北垣	
				1	香川	
				1	森田	
				1	山端	

## 新年度幹部名

平成19年11月24日

役職	科年	氏名	役職	科年	氏名
主将	2	北垣	OB担当	3	花本
会計	3	桑原	監督	3	原島

## 卒業生名

田口
藤川

—挨拶—

## 新主将としての抱負

責善会自動車部主将 北垣 (2回生)

はじめまして。私は今年度、九工大自動車部第67代主将を務めさせて頂く事になりました北垣と申します。

今回、このような大役を任せて頂くことになり大変光栄に思っています。

力不足ではありますが主将としての責務を果たしていけるよう精一杯頑張っていきますのでご助力、ご指導の程宜しく願いいたします。

最後になりますが皆様のますますのご発展をお祈りしつつ挨拶とさせていただきます。

## 平成19年度総会を終えて

関東地区幹事 木村

( 36 )

平成19年度自動車部OB会総会は10月20日熱海温泉のニューフジヤホテルで開催され楽しく、和やかに終了することが出来ました。実行委員長として大任を無事終えることが出来たのも、関係役員、幹事、実行委員の皆様のご努力と松尾会長、原田顧問初め38名の方々の、ご多忙ななか、遠路はるばるご参加の賜物と厚くお礼申し上げます。

特に、今回退任された後藤監査役には、体調不良にも拘らず、奥様ともども九州から参加頂き監査報告及び事務引継ぎの重責を果たして頂きましたこと、あらためて深謝いたします。

今回の総会を終えての雑感を記してみます。

昨年3月に関東地区幹事の門司さん、副幹事の砂本さんが仕事の都合で退任され、私と宮崎さんが後を引き受けることになりましたが突然のことで人脈が繋がらず困惑しました。

10月7日に顔つなぎを兼ねて関東地区OB会の懇親会を開催しました。この席に武地、中西両名が忙しいなか駆けつけてくれ、50年代卒の有力OBからの人選を引き受けてくれました。

12月に第1回実行委員会を開催し役割分担を決定しました。初対面にも拘らずそこは自動車部のOBだと言う一点でたちまち意気投合し、以降7回の会合を重ね無事総会開催に漕ぎつけました。この間、委員の皆さんには現役で多忙な時間を遣り繰りしながら積極的に、且つ着実に計画を進めて頂きました。

私は前総会に初めて出席した際、同じ自動車部を名乗っていてもその活動内容が年代毎に激変していることに驚かされました。今後のOB会

活動の発展と活性化の為には年代間の相互理解が不可欠であると考え、その一助として今回スライドや写真の展示を計画した次第です。中には自動車部入部にあたり、2週間の講義と入部試験を実施していた写真を見て若いOBは驚いたし、逆にその後、徳尾特別顧問の指導の下でラリーに優れた成績を残し、卒業しては生涯の仕事として各方面で実績を上げる等、我々年代のOBには耳新しく且つ、頼もしく思われました。

今後は、もっと若い平成卒のOBを取り込んで、活動の幅と底上げを図ることも課題の一つであると考えています。同じ悩みは明専会でも深刻であると聞いており、中々難しい問題ですが自動車部OBという堅い絆を生かしていければと思う次第です。

次回は関西地区での開催となりますので、新年早々には反省会を開催し、今回の実績と反省を取りまとめ申し送りが出来ればと考えています。

私も6月で古希を迎えました。やはり今最大の課題は健康維持ということになります。幸い現状健康ですので好きなゴルフに打ち込んでいます。春夏秋冬を問わず、年間100ラウンド以上を目標に芝の上をひたすら歩いています。今年は10月までに125ラウンドプレーし、シングルハンディーも達成しました。あと10年、1000ラウンドプレーしたらゴルフは卒業し、新たなホビーを見つけたいと途方もない夢を抱いて生きています。

最後に2年後の再会を祈念して挨拶に代えさせて頂きます。有難うございました。

## —総会特集—

### 平成19年(第4回)明専・九州工業大学自動車部OB会総会の開催

このページは明専会報にも掲載されます。

関東地区副幹事 宮崎

( 39 )

2007年10月20日(土)～21日(日)に、静岡県熱海市熱海温泉のニューフジヤホテルに於いて、第4回明専・九州工業大学自動車部OB会総会及び役員会が開催され、38名の出席を得て、盛大に実施されました。

(1) 役員会は、松尾会長以下9名の役員とオブザーバーとして実行委員会事務局4名の出席

で、17:00～17:50に開催されました。

議題としては、OB会会則の改定案、本部活動報告及び決算報告、本部及び地区役員の新人事、活動計画及び予算、等について審議されました。また、次回総会は、2年後に、関西地区での開催、という方向付けがなされました。

(2) 総会は、18:00～18:30に開催

されました(司会 坂井副事務局長)。開会の辞、会長挨拶に続き、松尾会長の議長で議事を進行、役員会より報告、提案されたOB会会則の改定、H17～H19年度本部活動報告及び決算報告、本部及び地区役員の新人事、今後の本部活動計画及び予算、その他事項が提案通り承認されました。

(3) 総会に引き続き、司会を武地副事務局長に、バトンタッチして、懇親会に突入、来賓挨拶(原田教授、徳尾特別顧問)を頂いて、廣田副会長の音頭で乾杯、会食に入りました。

自動車部活動報告(現役主将・原島氏)、19年総会の準備活動紹介(総会実行委員会事務局長・中西氏)、21年総会の抱負(関西地区幹・木庭氏)を得て、思い出のアルバム映写及び語り(木村実行委員長、近藤氏)をスタートに、自己紹介・体験談で盛り上がりました。

坂井氏の巻頭言に続き、学歌斉唱、最後に、中野副会長の音頭で万歳三唱をして幕を閉じました。時に、21:00

(4) 二次会は、明トラ、.. 尽きぬ思い出話、温泉、等で、何時に寝たのか不明。

(5) 翌日は、観光組(モア美術館、他)とゴルフ組に分かれて、楽しい時間を過ごし、2年後の総会を楽しみに、散会となりました。

出席者は次の方々でした。

原田 (顧問、教授) 徳尾 (特別顧問、  
原島 (主将) 岩本 (現役) 松尾  
(25) 中野 (25) 後藤 (28)  
廣田 (29) 中島 (30) 河相  
(31) 嘉村 (33) 中村 (33)  
木村 (36) 砂本 (39) 宮崎  
(39) 梅山 (40) 木庭 (43)  
山本 (46) 川越 (47) 河野  
(49) 山崎 (49) 中西 (50)  
武地 (51) 本吉 (51) 永田  
(52) 坂井 (52) 江頭 (53)  
潮崎 (53) 坂田 (54) 近藤  
(54) 早田 (54) 楨本 (54)  
太田 (55) 松元 (55) 山口  
(57) 小川 (63) 御領 (63)  
永渕 (H1) 以上



### —総会特集—

#### 平成19年(第4回) OB会総会準備委員会報告

07・11・19

OB会総会実行委員会 事務局長 中西 (50)

OB会総会が盛大に、成功のうちに終わり、参加して頂いた来賓・OB各位に準備委員一同心から感謝いたします。この成功も05年前後から同年代のOBがさまざまな会合を開き連絡網ができていたこと、また、会合を重ねるごとに委員相互の連帯感が深まり、その役割分担に使命感を持って当たったことなどが考えられます。

今回は、関西でのOB会総会の開催となりますが、さらに多数の参加者のもと、盛大に開催されますよう期待いたします。今回のOB会総会開催にあたり、下記に実行委員会設置までの経緯と当日までの準備活動概要を紹介いたします。

記

(1) 実行委員会設置までの経緯(氏名は敬称略)

①前回、『平成17年(第3回)明専・九州工大OB会総会』が中部地区にて開催された。関東からも50年代卒のメンバーが何人か参加し、その年の忘年会開催を約束した。

②2005年12/23(土)、新橋の居酒屋にて50年代卒有志忘年会開催。卒業以来の懐かしい顔ぶれが15名程集まり親睦を温めた。(世話役:早田)

③2006年10/7(土)にKITAC関東地区OB会開催。(於 鳳龍クラブ)

「OB会総会関東地区開催に向けて」⇒実行委員の選定依頼を受け50年代卒でメンバー選定(取りまとめ役:武地・中西)

④2006年11/25(土)～26(日)50年代卒有志

に総会実行委員の選定を兼ねて、伊豆高原富士通保養所にて忘年会開催。(世話役：太田)

## (2) 当日までの準備活動概要

①2006年12/9(土)：第一回実行委員会開催(委員会の結成)・委員長、副委員長、委員、事務局 計16名を選定し、役割分担を決定。

中部地区の準備段階時のデータ情報を受け取り、おおよそのスケジュールを作成

②2007年2/3(土)：第二回実行委員会開催  
・日程決定 10月20日(土)～21日(日) 宿泊先、会費決定・通信連絡手段検討、会計報告・平成卒の実行委員要請・イベント内容等

③同3/24(土)：第三回実行委員会開催  
・住所録整備・「開催案内」(第一報：往復はがき)作成・招待者4名のご予定確認

④同3月末、開催案内(第一報)往復はがき送付

⑤同5/19(土)：第四回実行委員会開催  
・案内状回収状況確認・参加者への詳細案内作成・明専会報への記事掲載・総会、懇親会の構想(イベント)について

⑥同6/23、参加者への詳細案内(第二報)封書送付(パンフ等同封)

⑦同8/4(土)：第五回実行委員会開催(親睦会をかねて鳳龍クラブで開催)

・OB会総会当日配付資料の準備・当日の役割分担

⑧同9/8(土)：第六回実行委員会(現地の下見及びニューフジヤホテルと詳細打合せ)

⑨同10/13(土)：第七回実行委員会(廣田副会長も同席)・当日配付資料の最終確認・参加者名簿の最終確認・総会席上で100周年の寄付の募集要請について(廣田副会長)

⑩参加者の皆様への最終案内(第三報)メール送信・最新参加者名簿送信・当日及び翌日の全体日程送信・参加者各人の思い出記録の当日持参お願い・役員会出席の方への

ご案内・参加費未入金者の入金お願い  
当日、受付で配付する「部屋割り」と「本日の予定」、「座席表」等最終版作成

(3) 第4回OB会総会当日、役員会・総会開催

(4) 翌日、モア美術館等の観光又は伊豆にらやまカントリークラブでゴルフ



### 【実行委員会メンバー】

委員長：木村 (36) 副委員長：宮崎 (39)  
アドバイザー：砂本 (39)  
事務局長：中西 (50) 副事務局長：武地 (51)  
副事務局長：坂井 (51)  
同、会計監査：本吉 (51) アドバイザー：近藤 (54)  
渉外担当：早田 (56m)  
渉外担当：太田 (55) 総務兼会員名簿管理：松元 (55)  
総務担当：榎本 (54)  
総務担当：永渕 (H1) 総務担当：谷口 (H1)  
会計担当：江頭 (53) イベント担当：潮崎 (53)



## —総会特集—

### 平成19年(第4回) OB会総会会計報告

OB会総会実行委員 会計担当 江頭 (53)

① 出欠ハガキ代金を節約するために料金受取人払い扱いとした。認可には1週間かかったがこれにより中部の時よりも1万1千円の節約できた。

② 返送ハガキの出欠とりまとめ  
出席、欠席、委任の有無などとりまとめた。住所変更があった方の住所録の整備を実施し

た。返送ハガキの近況報告が書かれており大変懐かしかった。最終的には最新版の住所録ができた。

③ 出席者へのOB会総会資料の送付  
出席連絡をいただいた方へOB会総会資料を送付した。資料は実行委員の皆で手分けしてコピーしてくれ、幹事の一体感を感じた。

## ② 総会前の役員会

OB 会が成立する条件を調査することに時間の殆どを費やしてしまい、役員会内容は覚えていない。ちょっと残念である。OB 会成立要件は前もって用意しておき当日確認しないで済むようにするべきと感じた。次回総会の参考にしてほしい。

③ 総会当日早田さんと10時に小田原で落ち合い、二次会用の酒とおつまみを買った。ホテルに着き受け付け設営の準備。横田様が体調わるく当日キャンセルとなったが、他は予定通りの運営となった。三郎さんとも話が出来たし、明トラも途中参加となったが十分に楽しませていただいた。

## 一総会特集一

### 九工大自動車部第4回OB会総会を振り返って

OB会総会実行委員 映像担当 近藤 (54)

この数年のOB会活動は、白倉(51)(文中敬称略)からの2004年年賀状が発端でした。「今年はOB会をやろう」という熱い年賀状でした。

その年の夏の終わり、白倉から特命を受けた永田(52)から、「三郎さんの古希会をやるぞ」。対象者は白倉在学の±10年で、300名程。案内出すだけでも大変。何人集まるやら。

三郎さん古希会は、発起人が白倉、幹事は永田、小川、御領、近藤。2004.1.20日、蒲郡西浦温泉で開催。参加は、OB14名+三郎さんご夫妻、計16名でした。

この古希会準備中の2004年秋、名古屋でOB会開催され、初めてOB会というものに参加。会の目的は、「九州のOB総会(2003)で、九州で開催した第2回OB総会に次いで2005年は名古屋万博もあるので、中京地区で開催しよう、との提案があった」ということでした。OB総会など、聞いたことがある程度。でも面白そう。

2005年、OB総会準備開始。会場場所は、各会社の施設や保養所をお借りし、毎回違う場所で、訪れるだけでも楽しいものでした。

私は、掛川から参加。ちょっと遠くからの参加の分、役割負担を軽くして頂きました。中京メンバーは、元海軍の中野副会長(25)を筆頭に、山本さん(46)を軸として、毎会合後の親睦会もあり、よくまとまりました。

2005年OB総会は、9月3・4日豊田市猿投温泉で開催。名古屋万博最終月で、夏休みを外

## ⑥会計報告

11月12日に実行幹事にはメールで会計報告をした。会計は大変だったが達成感があった。

### 平成19年OB会総会収支報告

収 入		支 出	
繰越金		事務用品	
OB総会会費		通信費	
本部負担金		総会費用	
利息		飲食費	
寄付金(松尾)		返金	
宿泊費 返金		現役交通費	
		本部会計へ	
合計		合計	

した設定でした。参加は、OB26名+現役1名+原田先生+徳尾顧問、計29名でした。

さて、指名を受けた今回の関東地区OB総会。2005年12月新橋、2006年11月伊豆高原富士通保養所、と忘年会で親睦重ね、同年12月から準備開始。こちらの会合は、新橋・鳳龍クラブ。事務局にOB宮崎(機39)がおられ、会場場所確保は心配なし。私は今回も幹事続行、こちらでも、遠方からということで、前回のオブザーバーとしてお気楽に参画してました。

ところが「前は名古屋万博があった、今回は何を目玉にしようか」。明トラ大会などの企画等。8月会合で、「持ち寄り写真の映写会」との提案があり、「スキャンは」との質問に、「デジカメで撮影しパワーポイントにすれば簡単、三郎さん古希会でやったよ」と言ったのが運のつき。更に、この時、木村幹事(36)が、在学時の写真を、コメント付アルバムにしたものを持参。流星号が、入部試験が、九州一周ラリーが、～特集満載。「思い出映写会」が決まり、映像担当を仰せつかりました。木村幹事のアルバムと三郎さん古希会での映像写真を核に、関東地区幹事の写真を加え、展示資料80ページ作成。当日、会場に貼り付け、加えて映写も流しました。説明した映像は、この抜粋版で、当日持参された松尾会長(25)・木庭幹事の写真も加えました。参加総数は、OB34名+現役2名+原田先生+徳尾さん、計38名。今回の総会は前回より9名増。

総会后、総会当日の集合写真と各人写真をまとめたファイル1本と、思い出写真抜粋ファイル1本、計2本のファイルを作成し、まず、10/23関東地区幹事に送信しました。参加された皆さんへも、送信するつもりです。

#### —総会特集—

### 総会を終えて (われわれの総会は～2年前に始まっていた)

OB会総会実行委員 武地 ( 51)

★05.9.04 (総会まで776日) それは、早田先輩のメールで始まっていた。05.12.23に関東地区(+中京地区一部)にいる昭和50年代のOB有志で忘年会をやるとの提案。

★05.12.23 (総会まで666日) 早田先輩幹事で、15人が集合。新橋でなんと5時間の大宴会(お店のお兄さんご理解ありがとうございます)。来年は泊まりで明トラをしながら語り明かそうの提案があり、次のステップへ。

★6.10.7 (総会まで378日) 木村先輩、宮崎先輩の関東地区OB会。出席者中最も若い武地が実行委員を依頼される。愛知県に単身赴任中だった武地は、ためらうがお二人の熱意に負けて、安請け合い(実は11月25日に予定されていた、

ちょっと早い忘年会への期待が)。そこに中西先輩が駆けつけ、「やろうや」の一声で決定。

★06.11.25 (総会まで329日) 05年12月の忘年会の宿題を実行。太田君幹事で、13名が伊豆の富士通保養所に集合、大宴会。席上、武地から参加者に19年総会の話の説明。参加者の協力を依頼。全員の賛同。この時19年総会実行委員会事務局が事実上の結成。

★06.12.9 (総会まで315日) 第1回実行委員会。木村先輩、宮崎先輩、砂本先輩と50年代OBの初顔合わせ。お3方には、50年代卒のあまりの活発さに、不安は??実行委員会の皆さん、ご協力ありがとうございました。

無事に終わった今、全て楽しかったです。

#### —総会特集—

### OB会総会準備委員として

OB会総会実行委員 早田 ( 54)

OB会総会の準備実行委員に初めてかかりました。神奈川県西の果てから東京新橋の鳳龍クラブへ2時間をかけて通いましたが、懐かしいメンバーとの顔合わせが毎回楽しみでした。

運営についての議論は、学生時代の自動車部の活動を思い出させるものがあり、懐かしく思いました。役割は渉外として、特に宿泊先の選択と準備交渉を担当しました。下見に行くまではどんなものか心配をしましたが、熱海でもっともコストパフォーマンスのよいホテルを選択

できたと思います。

参加人数50名を目標としてましたが、今回は及びませんでした。次回に期待したいと思います。当日は受付を担当しましたが、参加者が予定どおり、きてくれるか心配でしたが全員が出席でほっとしました。総会、宴会が無事に行われ、二次会からは実行委員の役割も忘れて明トラに没頭してしまいました。翌朝やっとな露天風呂に入れ、海がきれいなのが印象的でした。次回の大阪OB会総会にもぜひ参加したいと思います。

#### —総会特集—

### 自動車部OB会役員会・総会議事録

記録 武地 ( 51) 太田 ( 55)

会計・事務局、後藤会計監査、木村関東地区幹事、宮崎同副幹事、木庭(関西地区幹事候補) 山本(九州地区副幹事候補)、川越(会計監査候補)

・委任状2通、9名参加相当で役員会成立  
・オブザーバとして総会実行委員から、中西、

#### 役員会議事録

1. 日時、場所：平成19年(2007年)10月20日、熱海ニューフジヤホテル537号室に於いて
2. 出席者

松尾会長、中野副会長、廣田副会長、嘉村

川越（会計監査候補）

- ・委任状2通、9名参加相当で役員会成立
- ・オブザーバとして総会実行委員から、中西、武地、坂井、江頭

### 3. 議事

(1) 会則改正；当日配布された会則改正案に対し以下の通り一部変更することとした。

- ① 第9条；本会の会議は、総会、地区部会、役員会とし役員(削除)それぞれの会員の半数以上（委任状を含む）で成立する。
- ② 第16条；本会会則の改正は総会参加総数(委任状を含む)(削除)の3分の2以上の賛成を必要とする。

(2) 承認事項；

本部活動報告と17年度・18年度・19年度それぞれの決算報告が承認された。

(3) 審議事項；

- ① 役員人事案が提案どおり承認された。
- ② 20年度活動計画が以下の修正を持って承認された。

H19年12月11日流星19号発行（現役部員総会結果反映のため日程見直し）

- ③ 20年度、21年度予算案が以下の支出名目語句修正を持って承認された。

→ 廃棄物処理援助 部活動支援費

（廃棄物の支援だけでなく積極的に部活動を支援することとする）

- ③ 総会準備に時間と経済面で委員に負担がかかるがとの意見あり。現状では委員の手弁当に頼るしかない。成功時の達成感で勘弁してほしい。（事務局）

### OB会総会議事録

日時：平成19年10月20日、18：07～18：40

場所：熱海ニューフジヤホテル 燦光の間

内容：①定足数の確認 出席34名 委任状57名 計91名 正会員（170）の過半数を達成

開会の辞 総会実行委員長 木村（36）

「OB活動における相互理解の促進、世代間の積極的な連携で総会が実現できた旨を報告」  
会長挨拶 OB会会長 松尾（25）

「OBとして何をすべきか、現役に何を支援すれば良いか、皆で考えましょう」

議案 報告承認と審議 議長：松尾会長

本部事務局 嘉村（33）より提案・可決

(1) 会則改正について(役員会議事録参照)

会計年度の変更ほか

(2) 本部活動報告 嘉村（33）

①H18年9月徳尾さんを囲む座談会参加者7名

②H18年11月 流星18号発刊

③車庫付近の古タイヤの撤去についてH18年度は学校側に費用を負担いただいたが、今後は自動車部の責任で処理することになった。そのため、今後の廃棄処理費として年間2万円（暫定）を現役自動車部に援助することとした。

④流星創刊号～18号、会計関連庫書類を車庫の一隅にロッカーをおかせて貰い保管した。

(3) 会計報告

会計 嘉村（33）

より以下が報告され承認された。



決算報告17年度

H17.1.1-12.31

収 入		支 出	
繰越金		用紙料金	
会費その他		流星17号経費	
総会費余剰金		総会費	
坂田様寄付		事務費	
		繰越金	
合 計		合 計	

決算報告18年度

H18.1.1-12.31

収 入		支 出	
繰越金		流星18号経費	
会費その他		座談会通信費	
		事務費	
		中古ロッカー	
		繰越金	
合 計		合 計	

決算報告19年度

H19.1.1-9.30

収 入		支 出	
繰越金		総会費	
会費その他		部活動援助費	
		事務費	
		総会パンフ費	
		繰越金	
合 計		合 計	

上記決算報告に対して、会計監査 後藤

(28)より監査結果良好との報告があった。

(4) 役員人事について

以下の役員人事が承認された。

本部役員

会 長 松尾 (25) (留任)

副会長 中野 (25) (留任)

” 廣田 (29) (留任)

会 計 嘉村 (33) (留任)

会計監査	川越	( 47)	(新任)
地区役員			
九州地区幹事	伊東	( 44)	(留)
〃 副幹事	山本	( 46)	(新)
関東地区幹事	木村	( 36)	(留)
〃 副幹事	宮崎	( 39)	(留)
中京地区幹事	中野	( 任)	(留)
〃 副幹事	高橋	( 38)	(留)
関西地区幹事	木庭	( 43)	(新)
〃 副幹事	古河	( 46)	(留)

(5) 20年度活動計画

- ①H19年12月11日に流星19号を発行する。
- ②編集部主催 明専OBを中心とした座談会「彗星号を語る」を予定 北九州市小倉北区にて平成20年9月14日または10月12日、彗星号を知るものであれば大卒でも参加可。但し、九州地区OB会が計画されたときは中止とする。
- ③現役自動車部員との交流会の具体化・予算措置(年間1万円程度) H14/12/30 自動車部新車庫の披露を兼ねてOB会と現役との懇親会が開かれた。そのスタイルを踏襲し、現役主催で2年に1回(総会のない年)年

末に戸畑・小倉北区で開催する。

(6) 21年度活動計画

- ①平成21年(第5回)OB会総会開催担当を 関西地区幹事 木庭 ( 43) さん にお願ひする。
- ⑤H19年12月11日に流星19号を発行する。

予算案 20 年度 H19.101~H20.9.30

収 入		支 出	
繰越金		用紙料金	
会費		流星19号経費	
その他		部活動援助費	
		事務費	
		繰越金	
合 計		合 計	

予算案 21 年度 H20.101~H21.9.30

収 入		支 出	
繰越金		流星20号経費	
会費		部活動援助費	
その他		事務費	
		総会費	
		繰越金	
合 計		合 計	

—地区報告—

関西地区OB会活動報告

関西地区幹事 木庭 ( 43)

<幹事引継会>

平成19年3月神戸市内で関西地区OB会幹事の引継会が行われた。永年幹事を勤められた立松 先輩( 22)が、ご高齢を理由に幹事交代を希望され、OB会本部ともご相談の上、木庭が幹事を引き継がせて頂き、副幹事は継続して古河 ( 46) に担当して頂くことになった。

永年幹事を務められた立松健三先輩に感謝するとともに、今後ご指導賜ることをお願いした。

出席者 立松 ( 22) 木庭 ( 43)  
田中 ( 45) 古河 ( 46)

<関西地区OB会>

平成19年9月29日に神戸市内の神戸産業振興センターにて関西地区OB会が開催された。

岡山から嘉村、三角(文中敬称略)、京都市の中原、奈良市の孝橋などの遠地からの参加者を含め7名、が参加された。本OB会の開催準備をしてくれた副幹事の古河は、急病で残念ながら欠席となった。当日は、本部事務局の嘉村より本部報告を頂き、また、平成21年に関西地区で開催予定のOB会総会の開催準備について話

し合われた。

関西地区でのOB会は久しぶりの開催で、初対面のOB同士や、卒業40年振りに再会する。



人もいたが、若い情熱を打ち込んだ自動車部現役時代の出来事や、卒業後愛車を丁寧に整備しながら同じ車を20年近く乗り回した話など、共通の話題がはじめるといつも会っている人達同士のような雰囲気、楽しいOB会となった。

なお、前述の通り、平成21年に関西地区で、明専・九州工大自動車部OB会総会の開催を計画していますので、関西地区在住のOBの皆様の御協力を宜しくお願い致します。

出席者

嘉村 ( 33) 中原 ( 33) 橋 ( 40)  
木庭 ( 43) 田中 ( 45)  
孝橋 ( 55) 三角 ( 62)









--	--	--	--	--	--

特別会員

	氏名	郵便番号	住所	電話	E-mail
特別顧問	徳尾				
元部長	原田				
"	勝原				
"	藤原				
"	大西				
特別会員	綿貫				
"	佐武				
"	山本				
"	伊藤				
"	川崎				

物故者名

--	--	--	--	--	--	--

不明者

--	--	--	--	--	--	--

OB会会計からお願い

今年から会計年度が変更になりました。また、自動車部現役への部活動援助費なども予算化されています。OB会活動にも現在予算ぎりぎりの運営を続けますので、振替用紙にも記載がありますが会費のほかそれぞれのカンパへのご協力をよろしくお願いいたします。 会計担当 嘉村

# 明専・九州工業大学自動車部OB会会則 (太字は改正部分)

## 第1章 総 則

第1条 本会は明専・九州工業大学自動車部OB会と称し本部事務局を岡山市田町2-14-2 嘉村剛(化33)宅に置く。

第2条 本会は自動車部OBを主体とし、会員相互の扶助親睦を図るとともに、現役自動車部の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会は前条の目的達成のため、次の事業を行う。  
①会員総会 ②地区部会 ③現役部員との交歓会  
④自動車部への援助 ⑤その他

第4条 本会は次の会員をもって構成する。  
①通常会員 自動車部OBで会費を納入したもの。  
②特別会員 部長、顧問、参与で役員会が要請し受諾を得たもの。  
③賛助会員 同部に協力するもので、役員会によって推薦し総会で承認されたもの。  
④準会員 会費は未納だが、各種案内に回答があったもの。

## 第2章 役 員

第5条 本会は次の役員を置く。  
①会長 1名 ②副会長若干名 ③幹事(地区幹事・副幹事) 若干名 ④会計 1名(副会長兼任を妨げない) ⑤会計監査1名 ⑥顧問 若干名

第6条 前条の役員は、会員中より前期役員会によって推薦し総会で承認を得る。

第7条 会長は本会を代表し、且つ会務を総括する。  
2 副会長は会長を補佐し、会長不在の際はその職務を代行する。  
3 幹事は予算決算、その他会務を審議執行する。

第8条 上記役員の任期は2年とする。ただし重任、兼任を妨げない。  
2. 役員は次期候補を推薦した後退任するものとする。

## 第3章 会 議

第9条 本会の会議は、総会、地区部会、役員会とし、

呼称の統一について これまで地区と、支部という呼称を使っていたが、以後地区(例関東地区)に統一する。

### 編集後記

これまで「流星」の発行が現役部員の秋の部員総会の前でしたので、主将はじめ役員の挨拶や部員名簿がかなり遅れて記載されていました。今回から12月中旬の発行になり、この矛盾も解消されたと思います。

私・嘉村も流星14号から19号まで担当しましたが、年とともに集中力に欠けミスが多くなったので次回、20号からは、総会準備の副事務局長で手腕を発揮された武地 さん( 51)に部誌担当・編集を、また名簿管理を松元 さん( 55)にお願いする予定になりました。事務局は続けますのでよろしく。

それぞれの半数以上(委任状を含む)で成立する。  
会議の議決は出席者の過半数の賛成をもってする。  
総会は、本会最高の議決機関で会長がこれを召集する。

- ① 定例総会
- ② 会員の5分の1以上の要求があったとき
- ③ 会長が必要と認めたとき

## 第4章 会 計

第11条 本会の経費は会費及び寄付金をもってこれにあてる。

第12条 会費は1年分1,000円とし2年分2,000円を徴収する。

第13条 本会の会計年度は10月1日に始め翌年の9月30日に終了する。

## 第5章 地区部会

第14条 本会は地区部会を九州、関東・中京・関西に設置する。

2 その他の地区部会は本会に届けて設置することができる。

第15条 地区部会における役員・細則は、地区の会合によってそれぞれ定めることとする。

2 地区幹事は本部役員との兼任を妨げない。地区役員の変動はその都度本部に通知するものとする。

## 第6条 細 則

本会会則の改正は総会参加総数の3分の2以上の賛成を必要とする。

会員は住所氏名、電話番号などに変更があったときは直ちに本部に連絡するものとする。

2 会員は本人及び他の会員の移動、名簿の誤記、欠落など本部に通知するものとする。

本会は年に1回ないし2回、会報「流星」を発行し、会員、準会員に配布する。

## 附 則

本会会則は昭和41年1月26日から有効とする。

本会会則は平成15年11月23日改正施行する。

本会会則は平成19年10月20日改正施行する。

発行日 平成19年12月11日  
発行者 九州工業大学責善会自動車部  
主将 北垣  
明専・九州工大自動車部OB会  
会長 松尾

印刷 (株)印刷工房フジワラ

編集発送 部誌担当 嘉村

振替口座

加入者名嘉村

平成19年11月10日 九州工業大学 自動車部OB会 一行様



原田先生

徳尾さん

現役原島主将

現役岩本さん



武地さん/懇親会司:

